

OASIS/FEEMA特別講演会

安全を追求する新しい原子力・材料研究のこれから

東日本大震災後、日本のエネルギー政策では環境とエネルギーを両立させ、安心・安全な生活環境を向上させる必要があると強調され始めています。この考え方をいち早く取り上げ、室蘭独自の新しいアイデアとこれまでの研究の積み重ねを活用する為に、大学が一丸となって活動する組織としてOASISが立ち上げられました。

最も重点を置いて研究してきたのは、高い安全性と優れたエネルギー生産効率を有する原子力発電システムや核融合発電システムのために必要となる、セラミック複合材料や低放射化鉄鋼材料の研究です。

今回の特別講演会では先進的な原子炉システムとして注目されている「超臨界圧軽水炉」用の材料開発の現状に関する特別講演に加えて、OASISでの「環境・エネルギーシステム材料研究の現状」に関して、今年度より開始される文部科学省の原子力システム研究開発事業(安全基盤技術研究開発)のひとつである「高度の安全性を有する炉心用シリコンカーバイト燃料被覆管等の製造基盤技術に関する研究開発」のこれからについての特別講演を行います。

日時：平成24年9月11日(火) 13:00～15:10

会場：教育・研究7号館 Y203室

PROGRAM

司会：岸本 弘立 (室蘭工業大学 准教授)

13:00～13:10

開会挨拶

香山 晃 (室蘭工業大学 OASIS機構長)



14:10～15:00

特別講演 2

「OASIS/FEEMAにおける環境・エネルギーシステム材料研究の現状」

—高度な安全性を有する炉心用シリコンカーバイト燃料被覆管等の製造基盤技術に関する研究開発のこれから—

香山 晃

室蘭工業大学 OASIS 機構長

京都大学 名誉教授

室蘭工業大学 特任教授

13:10～14:10

特別講演 1

「超臨界圧水原子炉の材料開発の現状」

松井 秀楠

室蘭工業大学 客員教授

東北大学 名誉教授

京都大学 特任教授



15:00～15:10

閉会挨拶

幸野 豊 (室蘭工業大学 教授)



OASIS

室蘭工業大学

MURORAN INSTITUTE OF TECHNOLOGY

環境・エネルギーシステム材料研究機構